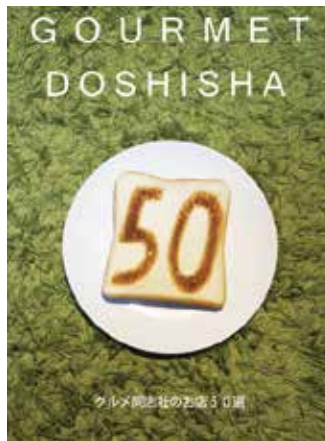


# 「グルメ同志社のお店100選」 企画・発行プロジェクトについて

## 1 目的・概要

プロジェクトに取り組む中で同志社の資産とは何か、飲食店を経営されておられる卒業生の方々とお話ししながら感じ、学び取り、またそれを人に伝える。それらについて1年間を通じて行ってきました。京都にて同志社大学が創立されてから141年。同志社は数えきれない卒業生を送り出してきましたが、その中には京都で飲食店を営んでおられる方が多くいらっしゃいます。江戸時代初期から歴史を受け継ぐ、日本料理や京料理の老舗。時代のニーズに柔軟かつ革新的な、イタリアンレストランやラーメン屋さん。私たちはこれらの様々な飲食店から同志社の卒業生が経営している店舗を探し出し、その1人1人と直接会ってお話を伺い、初めての出版作業に四苦八苦しながらも、1冊のフリーペーパーを作り上げました。



### Annual Schedule

- |       |         |                  |
|-------|---------|------------------|
| 2016年 | 4月      | 先行刊行物を追越し活動開始    |
|       | 5月      | 学生だけでの活動として再スタート |
|       | 6月      | アポ取り開始           |
|       | 7月～10月  | 取材               |
|       | 11月～12月 | 冊子作成             |
| 2017年 | 1月      | 冊子完成             |

## 2 成果達成度

### (1) 対象店舗の定義決め

同志社卒業生の方が経営しておられる飲食店を取り上げたグルメ誌といっても、どこまでの商品を含むのか、地域に制限はつけるのか、詳しく定義を決める必要がありました。そこで、私たちは話し合いを重ね、飲食店は京料理に限らないこと、地域は京都（比較的大学に近い地域）であること、価格帯が学生の手の届く範囲であることを条件とし、学生を主な読者ターゲットと定め活動を開始しました。

### (2) Leafさんへの取材

プロジェクトメンバーの中から数人がLeafさんに、取材のノウハウを学ばせていただくべく伺いました。メンバー全員が出版物を作ることに於いて初心者であったため、プロの取材方法を学ぶ必要がありました。取材メンバーがそこで学ばせていただいたノウハウを後日マニュアルとしてプロジェクトメンバー全員に配布したことによって、情報収集方法、取材方法、編集の基礎、取材電話の基本などの知識を共有し、学ぶことができました。



### (3) 取材

グルメ誌を作成するにあたり、該当店舗を探し出す必要がありました。そのため、フィールドワーク班、SNS班、アンケート班、Leaf班、OB会資料班などといった班に分かれ、情報収集を開始しました。そして、同志社卒業生の経営する飲食店で尚且つ私たちのグルメ誌の取材対象店舗となり得る飲食店を99店舗探し出すことができました。メンバー全員で割り振られた自分の担当店舗に電話をし、許可をいただければ企画書に目を通していただいた上で取材に伺い、後日原稿に書き起こす、それらを繰り返しました。その結果、たくさんの方々の協力により50店舗の取材が成功しました。

### (4) 冊子



原稿があがってくると次に必要となるのは誌面のデザイン構成と、本文の校閲です。メンバーのなかからデザイン班を形成し、その班のメンバーが主力となって誌面をつくりあげました。また、予算を考慮した印刷所の決定や納期なども定めていかなければなりません。この報告書を書いている現時点では冊子は手元にない状況です。しかし1月中旬には完成冊子が印刷所から届くため、届き次第グルメ誌の配布とアンケートを実施します。

# 3 プロジェクトを通じて



同志社が誇る経営の人材と接することで、“本学の有する歴史”“伝統教育”“人材”といった資産を再確認できました。私たちの冊子には従来のグルメ誌とは違う点があります。お店や料理の紹介だけをしているではありません。経営者の方々の同志社在学中の思い出話や、卒業から経営者に至るまでの軌跡、経営者としての志などもページに盛り込んでいるのです。学生でも気軽に、ある

いは何か特別な日に少し背伸びをすれば行けるような美味しいお店が、同志社生の繋がりを大切にしている素晴らしい先輩方が、この冊子には載っています。この冊子を通して、多くの校友や同志社卒業生の皆さまにもこれらの気づきをお届けできることを心から願っております。



## 編集後記

冊子作成にあたり右も左もわからないなか、完成にたどり着けたのはたくさんの方々のお力添えがあってこそ。感謝の気持ちでいっぱいです。また、実際にお話させていただくなかで同志社の繋がりを実感すると共に、常に活き活きと挑戦し続ける経営者の方々の姿を見て同志社の色を感じ、自分もまたこのような人間になりたいと思いました。元から存在する伝統などを大切に維持し更にそこへ新しい風を持ち込み挑戦している、そういった方が多いように私は感じました。

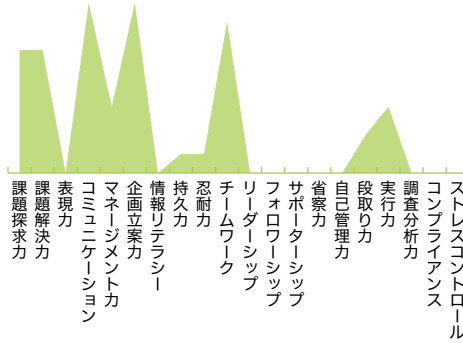
## プロジェクトメンバー

近藤 美友貴(文3) 西山 美羅(文3) 金井 美樹(社会2) 加藤 政佐樹(社会3) 近藤 昌太郎(法3)  
西出 典(法3) 服部 泰英(経済2) 江尻 葵(経済3) 瀬戸 春香(経済4) 徳永 茉奈(商2) 萱間 優斗(商3)  
国本 健吾(商3) 和田 航太(商3) 山本 真央(商3) 藤田 結子(政策2) 尾形 佳奈(政策2)  
大江 采奈(グローバル地域文化3) 長田 みなみ(グローバル地域文化3) 池之上 菜奈(心理3) 江藤 菜生(TA)

## プロジェクト活動 アンケート集計結果

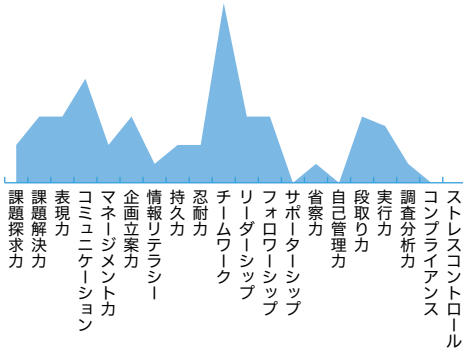
### 授業開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

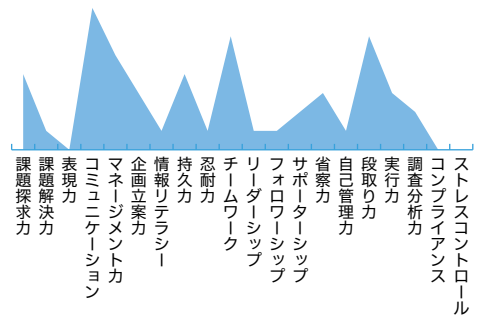


### 春学期終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

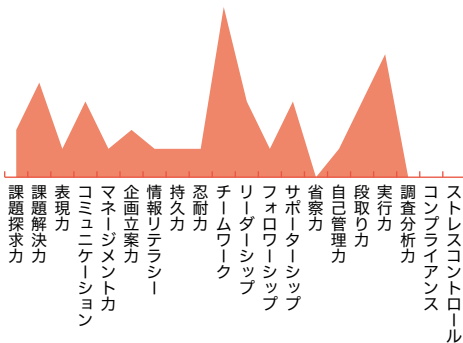


Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい



### 授業終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

